

令和5年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)						
副教材等	学習者用家庭科ICT教材集(動画、シュミレーションアプリ) (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

衣生活、食生活、住生活および子どもの発達と保育、高齢社会、消費生活に関する事項を生活科学として理解するとともに、生活文化と関わらせて考え、充実した生活を営むことができるようにする。

2 学習の到達目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第9章 消費行動を考える	1節 消費行動と意思決定	a:消費行動について,さまざまな情報を収集しながら,自分の消費行動について検証することができる。 b:消費行動における意思決定の過程について,具体的な事例を通して主体的に考え,判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し,物・サービスの購入のあり方や,消費行動,消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 消費生活の現状と課題	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき,また契約についての知識を身につけている。 b:多様化する販売方法や支払い方法について,問題点や解決策を考え,判断することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		3節 消費者の権利と責任	a:消費者の権利と責任などについて理解できるとともに,現代の消費生活の課題について認識できる。 b:消費者としての自覚を持ち,消費者の権利と責任を考えることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		4節 ライフスタイルと環境	a:家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて,生活と関連させながら課題をみつけ,解決の方向性を判断することができる。環境に関するグラフなどから,生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	

※令和4年度以降入学生用

第10章 経済的に自立する	1 節 暮らしと経済	<p>a:家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。</p> <p>b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。</p> <p>c:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	2 節 将来のライフプランニング	<p>a:短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。</p> <p>b:将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
第1章 これからの人生について考えてみよう	1 節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～	<p>a:自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。</p> <p>b:人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。</p> <p>c:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	2 節 これからの人生をデザインする	<p>a:自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。</p> <p>b:自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	
	1 節 自立と共生	<p>a:青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。</p> <p>c:男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。</p>	定期考査		提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

第2章 自分らしい生き方と家族	デートDV 予防	<p>b. 望ましい青年期の男女のかかわり方・付き合い方について、自らの考えをまとめることができる。</p> <p>c: デートDV 予防について関心を持ち、理解をしようとしている。</p>		定期考査 提出プリント	<p>提出プリント 振り返りシート</p> <p>デートDV 予防授業</p>
	2 節 ライフキャリア	<p>a: 生活にかかわる労働の意義、また、現在の労働環境などについて理解できる。現在の生活時間の状況をふまえ、生活時間と労働との関係について理解できる。</p> <p>c: 労働の意義や役割、労働時間と生活時間との関わりについて関心をもち、現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。</p>	定期考査		提出プリント 振り返りシート
	3 節 共に生きる家族	<p>a: 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。</p> <p>b: 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができる。現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。</p> <p>c: 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心をもとうとしている。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	4 節 家族に関する法律	<p>a: 家族に関する法律についての知識を身につけている。</p> <p>c: 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。</p>	定期考査		提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

2 学期	第3章 子どもとかわる	1節 子どもとは	c:子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかわりながら、理解しようとする。生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。			提出プリント 振り返りシート
		2節 子どもの発達	a:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 b:子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		3節 子どもの生活	a:子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 c:子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		4節 子どもをはぐくむ	a:生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 c:子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		5節 子どものための社会福祉	a:子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。 b:子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	第4章 高齢者とかわる	1節 高齢社会に生きる	a:高齢化社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。 b:高齢社会の課題やその解決にむけて、新聞記事などを収集し・分析する課程において、課題の発見、解決の方向を導き出すことができる。 c:高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかわろうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

	2節 高齢者を知る	a: 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 b: 高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより, 高齢者の自立した生活とは何か, 自分の考えをまとめることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	3節 高齢者の自立を支える	a: 認知症の高齢者と接するときに必要な心がけを理解している。介助技術や車椅子の扱い方を理解している。 b: 要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考えることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	4節 高齢社会を支えるしくみ	a: 高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。高齢者の生活における地域社会の役割, 地域福祉の重要性について理解できる。	定期考査		
第5章 社会とかかわる	1節 支えあって生きる	a: 社会福祉の意味, 現在の社会福祉の状況, 社会保障制度のしくみについて理解できる。 b: 社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて, 現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c: 生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	2節 共生社会を生きる	a: ボランティア活動の意義について理解できる。 b: 自分たちの暮らす地域の福祉について, 調査などを行い, 自分でできることは何かを導き出すことができる。支え合う社会とは何かを主体的に考え, 社会福祉についての考えをまとめることができる。また, 社会において自分のできることは何かを導き出すことができ, それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる。 c: 社会の一員としての自覚を持ち, ボランティア活動や支え合う活動への興味・関心を持って, 調査・参加しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
第7章	1節 人と衣服のかかわり	c: 自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち, 衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。			提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

	2節 衣服の素材の種類と特徴	a:衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 b:衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	3節 衣服の選択から管理まで	a:衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につけている。 b:衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	4節 持続可能な衣生活をつくる	a:不要となった衣類について、リサイクルに回す、作りかえるなど、実生活において実践することができる。 b:現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	5節 衣服の構造・デザイン	a:材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。 c:基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的にとりくもうとする。	定期考査  被服実習		提出プリント 振り返りシート 被服実習
第6章 食生活をつくる	1節 日本の食文化の形成	a:日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。 b:自分の地域の郷土料理について、歴史や料理の作り方を調べてまとめることができる。自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し、違いを自分の言葉で表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	2節 私たちの食生活	a:食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 b:自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決にむけての判断ができる。 c:自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		3節 栄養と食品のかかわり	a: 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 c: 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		4節 食品の選び方と安全	a: 旬の食材にはなにがあるか、なぜ旬の食材がよいのかを理解している。食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。	定期考査		
3 学 期		5節 食事の計画と調理	a: 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b: 栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c: 調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。	定期考査  調理実習	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 調理実習
		6節 これからの食生活を考える	b: 現在の日本の食生活における課題について調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。		定期考査 提出プリント	
	第 8 章	1節 人間と住まい	a: 住まいの役割・機能について、地域の特性などをふまえて調査・研究ができる。	定期考査		
		2節 住まいの文化	a: 日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解している。 b: 現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	



※令和4年度以降入学生用

	3節 住まいを計画する	a:住まいの機能・役割, またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b:ライフステージと住空間の設計の関係, 住環境について考えを深めることができる。 c:住まいの機能, 住空間の計画や住環境について関心をもち, 快適な住まいづくり, よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	定期考査  平面計画実習	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 平面計画実習
	4節 健康に配慮した快適な室内環境	a:日照・日射・採光・照明, 通気・換気, 冷暖房など, 健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また, 住まいの清掃やメンテナンスについても理解し, 快適な生活につなげることができる。 b:住まいの管理方法について, 適切な掃除や頻度を考え, 判断することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	5節 安全な住まい	a: 住まいの安全対策, 住まいにおける健康管理など, 実生活に役立てることができる。 b:安全な住まいづくりや, 快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ, その課題解決のための方策を考えることができる。暮らしやすい住まいについて, 住空間だけでなく, 周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	6節 持続可能な住まいづくり	a:安全で快適な住まいや, 社会環境・地域環境についての知識を身につけ, 現在の住生活の課題についても認識できる。	定期考査		
生活設計		a:精神的な自立, 経済的な自立, 生活的自立, 性的自立にむけて, 家庭総合で学んだ技術や知識を確認し, これからの人生を考え, 設計できる。	定期考査		

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和5年度 家庭科

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活産業基礎（実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日頃から生活産業に興味をもち、新聞などさまざまな媒体を通して社会の動きや出来事について関心を持ち、正しい知識を習得してください。  
また、授業プリント等は保管し、自分自身の進路実現の参考にしてください。

2 学習の到達目標

実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することをめざす。

- ①生活産業や関連する職業に関連する技術を身に付けるようにする。
- ②生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、さまざまな視点で解決する力を養う。
- ③進路選択と専門性の向上をめざし自ら探究し、主体的・協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各職業に求められる資格や技術について理解できる。 家庭に関する科目の学習がスペシャリストとして生活産業に関する職業に結びつくことを理解できる。	生活産業に関する専門的な知識・技術の理解と自身の卒業後の進路について思考を深め、発表等を通じて表現することができる。	各分野のスペシャリストとして必要な知識と技術を習得しようとする意欲と態度を身に付けることができる。また、進路実現に向け実践できる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 生活産業基礎を学ぶ	私たちの生活と「生活産業」	a:産業構造について知識を身につけている。 b:生活産業基礎を学ぶ意義について、自分の考えをまとめる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		「生活産業」のスペシャリストになるために	a:商品・サービス開発に必要な知識としての色彩、配色の基礎を理解する。 b:商品・サービス開発に必要な知識を踏まえ、これからの時代に求められる要素を考える。 c:身近な商品・サービスに注目しながら、今後の生活に必要なことを考える。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
	第2章 生活に対応した商品・サービスの提供	消費者ニーズの把握	a:どのような消費者ニーズがあるか理解する。	定期考査		
		商品・サービスの企画・開発及び販売・提供	b:消費者ニーズを把握し、自分自身で商品・サービスの開発をする。 c:自分で考えた商品・サービスが世の中にどういった影響を与えるか考え振り返る。		定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		関連法規	a:関係法規について知識を身につけている。	定期考査		
	2学期	第3章 食生活関連分野の産業と職業	食生活の変化と生活産業のかかわり	a:食生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。 b:食生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:食生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら食生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表
食生活関連産業の職業と資格			a:食生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:食生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	

※令和4年度以降入学生用

	第4章 衣生活関係分野の職業と産業	衣生活の変化と生活産業のかかわり	a:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。 b:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら衣生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		衣生活関連産業の職業と資格	a:衣生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:衣生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	
	第5章 住生活関係分野の職業と産業	住生活の変化と生活産業のかかわり	a:住生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。 b:住生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:住生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら住生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		住生活関連産業の職業と資格	a:住生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:住生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	
3学期	第6章 ヒューマンサービス関連分野の職業と産業	社会の変化とヒューマンサービス	a:社会の変化とヒューマンサービスについて理解する。 b:社会の変化とヒューマンサービスについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:社会の変化とヒューマンサービス住生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながらヒューマンサービスと関わる計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		<p>ヒューマンサービス 関連産業の職業と 資格</p>	<p>a:ヒューマンサービス関連産業の職業 と資格について理解する。 b:ヒューマンサービス産業の職業と資 格について、自分と関連づけて思考・判 断し、表現できる。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査 提出プリント 発表</p>	
<p>第7章 職業生活と自己実現</p>		<p>職業生活と生きがい</p>	<p>a:職業生活と生きがいについて理解す る。 b:働く意義について、社会の変化に照ら し合わせながら自分の考えをまとめる ことができる。 c:職業を通じての自己実現に向けて、意 識して実生活を送る。</p>	<p>定期考査</p>	<p>定期考査 提出プリント 発表</p>	<p>提出プリント 発表 振り返りシート</p>
		<p>将来の生活と学業</p>	<p>c:自分自身の将来を見据え、今後の学業 と進路計画について、深く考えることが できる。</p>			<p>提出プリント 振り返りシート</p>

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※令和3年度以前入学生用

学校番号	2002
------	------

令和5年度 (専) 家庭科

教科	(専) 家庭	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	フードデザイン 新訂版 (実教出版)						
副教材等	オールガイド食品成分表 2023 (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代の食生活について、広い視野で理解ができるようにする。授業形態を主体的に取り組めるものとする。実習など体験的学習を通して技術の向上と理解を深める。

2 学習の到達目標

先人が築きあげてきた食文化に触れ、既存の文化を受け継ぎつつ、これからの安全で健康な生活を作り上げていくことのできる能力と態度を養う。また、世界の食文化を通し、異文化理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	食生活に関する諸問題に関心をもち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。	食生活を総合的に捉えて計画・実践するための課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	主体的に食生活を営むために必要な食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート等の記述</li> <li>授業に向かう姿勢</li> <li>レポートの作成や発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの記述</li> <li>レポートの作成や発表</li> <li>定期考査の結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習の技能</li> <li>定期考査の結果</li> <li>ワークシート等の記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の結果</li> <li>ワークシート等の記述</li> <li>レポートの作成や発表</li> </ul>
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元 (学習項目)	学習内容	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	食生活と健康・調理の基本	食事の意義と役割 食品の衛生と安全	○	○			a. 調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。 b. 心身ともに健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について思考を深め、自分の食生活の現状を判断することができる。 c. 食品の衛生を踏まえた適切な調理ができるようにする。 d. 食品の特徴、調理性、加工について理解できる。	ワークシート レポート 観察等
		調理の目的・食品の調理操作			○	○		
	栄養素のはたらきと食事計画	栄養素の役割 1. 炭水化物 2. 脂質 3. たんぱく質 食品の特徴 穀類 いも類 油脂類 卵 魚介類 肉類 豆類		○	○	○	a. 食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持とうとし、知識を習得することができる。 b. 体の中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのか、また、その栄養素を含む食品を考えることができる。 c. 調理実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 d. 栄養素などの種類とはたらきについての知識を習得することができる。	ワークシート レポート 観察等
		フードデザイン実習	日本料理 西洋料理 中国料理		○	○		
	期末考査		○	○	○	定期考査		

※令和3年度以前入学生用

2 学 期	栄養素のはたらきと食事計画	4. ビタミン 5. 無機質 食品の特徴 牛乳・乳製品 野菜類 果物類 調味料 香辛料	○	○	○	○	a. 食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持つようとし、知識を習得することができる。 b. 体の中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのか、また、その栄養素を含む食品を考えることができる。 c. 調理実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 d. 栄養素などの種類とはたらきについての知識を習得することができる。	ワークシート レポート 観察等
	フードデザイン実習	日本料理 西洋料理 中国料理 その他の国の料理 日本の行事食		○	○	○	a. 協力して片づけができる。 b. 各料理に合った盛り付けや、目的にあった食卓を整えることができる。 c. 食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。 d. 献立に適した食品を選択し、食品の調理性を踏まえた適切な調理ができるようにする。	ワークシート レポート 観察等
		期末考査						
3 学 期	フードデザイン実習	日本料理・西洋料理・中華料理の特徴と献立・食卓作法	○		○		a. 日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持つようとしている。 b. 具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。	ワークシート レポート 観察等
		献立作成	○	○	○	○	c. 様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。 d. 食事を心豊かにおいしく食べるためには、食品の選択と食品の衛生と安全についての知識が必要であることを理解できる。	
		食品の選択と取り扱い		○	○	○		
		期末考査		○	○	○		定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度  
c:技能

b:思考・判断・表現  
d:知識・理解



令和5年度 (専) 家庭科

教科	専 家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

衣生活について関心を持ち、被服の製作を通してその構成や特徴に触れ、知識と技術を習得する。

2 学習の到達目標

被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得させ、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	衣服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、衣服を創造的に製作する態度を身に付けている。	衣服の製作について、自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適切かを判断する力を身に付けている。	製作題材を踏まえた技法を用い、計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身に付けている。	衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート等の記述</li> <li>授業に向かう姿勢</li> <li>レポートの作成や発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの記述</li> <li>レポートの作成や発表</li> <li>定期考査の結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習の技能</li> <li>定期考査の結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの作成や発表</li> <li>定期考査の結果</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

#### 4 学習の活動

学期	(学習項目) 単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	洋服の製作	1節 製作の基礎 2節 衣服の製作 製作例 基礎縫い練習布	○	○	○		a:被服製作について関心をもつ b:基礎的な技術で袋物を製作する。 c:手縫いの基本的な技術を習得。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	衣服の構成	1節 人体と衣服 2節 立体構成衣服と 平面構成衣服 トルソーの製作	○			○	a:人体にあわせた衣服を製作するには、どのような工夫があるか、関心をもつ。 d:平面構成衣服と立体構成衣服の違いについてトルソーの製作を通して、理解する。	定期考査 作品提出 レポート 観察等
	洋服の製作	2節 洋服の製作 2 下衣の製作 製作例 ハーフパンツの製作	○			○	a:洋服の製作について関心をもつ。 d:下衣の構成を理解し、製作技術を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
二学期	洋服の製作	2節 洋服の製作 2 下衣の製作 2節 手芸の製作 ハーフパンツに刺繍する	○			○	a:洋服の製作について関心をもつ。 d:下衣の構成を理解し、製作技術を習得する。 c:刺繍の技能を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	衣服の素材	1節 衣服素材の種類 2節 衣服素材の性能と 選択	○			○	a:衣服に適した素材の種類について関心をもつ。 d:衣服素材の性能にを理解する。	定期考査 レポート 観察等
	洋服の製作	2節 洋服の製作 2 上衣の製作 製作例 フリースパーカーの製作	○			○	a:洋服の製作について関心をもつ。 d:上衣の構成を理解し、製作技術を習得する。	定期考査 レポート 作品提出 観察等
	知識	和服の	1節 和服製作の基礎			○	○	d:和服の構成について理解する。
三学期	応用製作 洋服の製作	2節 洋服の製作 2 上衣の製作 フリースパーカーの製作	○			○	a:洋服の製作について関心をもつ。 d:上衣の構成を理解し、製作技術を習得する。	レポート 作品提出 観察等

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	2002
------	------

令和5年度 (専) 家庭科

教科	専 家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)						
副教材等	子どもの発達と保育 新訂版 学習ノート						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

子ども の発達や特徴について理解し、子どもにとってよい環境について考える。保育に関する知識と技術を習得し、将来子どもを育て、子育て支援ができるようになる。
----------------------------------------------------------------------------------

2 学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
---------------------------------------------------------------

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもに適切にかかわることができたり、子どもの健やかな発達を支援したりするために必要な技術を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート等の記述</li> <li>副読本の記述</li> <li>授業に向かう姿勢</li> <li>レポートの作成や発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの記述</li> <li>副読本の記述</li> <li>レポートの作成や発表</li> <li>定期考査の結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習の技能</li> <li>レポートの作成や発表</li> <li>ワークシート等の記述</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の結果</li> <li>ワークシート等の記述</li> <li>副読本の記述</li> <li>レポートの作成や発表</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の過程	○子どもの発育 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理敵意特徴 ・発育の評価	○	○	○	○	a. 人の発達について、自分自身の問題として考える姿勢をもっている。 b. 妊婦や子どもと触れ合ったり、実際の姿について観察したりすることができる。 c. 乳幼児期の生理的特徴が成人と大きく異なることを具体的に説明できる。 d. 生命誕生と母体環境の重要性について関心を持ち、自身の出生時の体重などと合わせて発育について必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 副読本 レポート 定期考査
	作品制作	壁面制作			○	○	a. 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b. 子ども自身の表現活動を活発にするためには何が必要か、という見方ができる。 c. 季節・行事について理解し、その制作について必要な技術を身に付けている。 d. 児童文化, 児童文化財の定義を理解している。	授業観察 実習レポート 製作物
	保育園・幼稚園実習（予定）	保育園・幼稚園の施設見学 子どもとのふれあいレポートの提出	○	○	○		a. 園児や保育士・幼稚園教諭について関心を持っている。 b. 子どもと触れ合ったり、実際の姿について観察したりすることができる。 c. 子どもと適切にかかわることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。	実習観察 実習レポート
		期末考査		○	○	○		定期考査

※令和3年度以前入学生用

2 学期	子どもの生活	○生活と用語 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・幼児食実習 ・食習慣の形成 ・衣生活と育児用品 ・おむつの実験	○	○		○	a. 乳幼児の生活の特徴を理解し、食生活や遊びが発育や発達に及ぼす影響について関心を持っている。 b. 乳汁栄養から離乳食、幼児食へと発達に応じた食事の意味を考えることができる。 c. 乳幼児に適した被服の材料・形態・衣生活の設計について理解し、選択することができる。 d. 乳幼児の健康について理解し、その健康を守ることについて理解している。	授業観察 ワークシート 副読本 実習レポート 実験レポート 観察等 定期考査
		○子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助 ・被服製作(子どものおもちゃ作り)	○	○	○			
		○健康管理と事故防止 ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防 ・事故の防止と応急処置	○	○	○			
	期末考査		○	○	○		定期考査	
3 学期	手作り絵本の製作	絵本の製作・発表・評価		○	○		b. 絵本について理解している。 c. 絵本の製作に必要な技術を身に付けている。また、絵本の読み聞かせの技術が身につけている。	授業観察 作品 発表 レポート
	子どもの保育	○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育	○			○	a. 幼稚園と保育園・認定こども園について学び、集団生活の意義に関心をもっている。 d. 家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長・発達に両方が必要であることが理解できる。	
	子どもの福祉	○子育て支援 ・社会的支援の必要性 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援	○			○	a. 子育て支援の課題と展望を考えることができる。 d. 児童を取り巻く環境の変化や子育て支援の現状を知り子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要があることを理解することができる。	
	期末考査			○	○	○		定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。